



## 退職予定者をバックアップ ～定年2年前教育を実施～

東京地本（本部長 高田克樹陸将補）は、平成26年4月16日に立川駐屯地、5月14日に朝霞駐屯地において32名を対象に定年2年前教育を実施した。

この教育は、定年退職2年前の隊員に対し、再就職に向けた準備の必要性を認識させることを目的として行っているもので、年間を通じて各駐屯地と調整を行い実施している。

教育は、「退職まであと2年しかない」という現状を理解させるため、東京地本援護課による「都県の雇用情勢」、「援護組織の活用」についての教育、援護協会の各駐屯地担当主幹から「再就職に当たって」についての教育及び、援護協会の担当主幹及び東京地域援護センター長との就職相談を実施した。

「都県の雇用情勢」においては、雇用情勢の厳しさを認識させ、「援護組織の活用」においては、再就職に必要な資格を今後1年で取得する必要性、高血圧等の健康上の不具合を改善すること等、再就職までに取り組みべき事項を認識させた。

また、「再就職に当たって」においては、再就職先となる民間企業の実態や再就職の心構え等について教育し、参加者の心に響く内容となった。さらに、就職相談では、1人当たり30分間実施し、再就職に対する不安や疑問を払拭するとともに、準備の重要性を認識する内容となった。

参加者からは、「再就職まであと2年あっても、準備期間がもう1年しかないと分かり準備を始めなければ、という意識になりました。」「民間企業の実情が聞けてよかったです。」といった声が聞かれ、退職予定隊員の意識の変化が伺えた。

東京地本は今後も、退職予定隊員がより満足度の高い再就職を目指し、万全な準備活動ができるようバックアップを続けていく所存である。



## 募集相談員と協力し広報活動 ～大山駅前での初の一般広報～

東京地本北地域事務所（所長 雑賀義明1等陸尉）は5月10日（土）に東武東上線大山駅前において一般広報を実施した。

大山駅は、板橋区で最も人が集まる「ハッピーロード大山商店街」の中央にある賑やかな場所である。募集相談員の佐竹氏のご好意により駅前にあるテナントを提供していただき、今回の広報活動実施に至った。

当日は、テナントにパネル展示を実施し、自衛隊の活動を紹介した。さらに駅改札口付近において広報官4名と佐竹相談員夫妻、氏家相談員、井上相談員夫妻とお孫さん、高沢相談員らが協力し、ティッシュ配りを主とした広報を実施し、地域の方々に自衛隊の活動を伝え、自衛隊に対する理解を深めた。

北地域事務所は、今後も募集相談員等の協力者と協力し、自衛隊に対する理解が深まる広報活動を実施していく所存である。

